

令和2(2020)年度第2回栃木県農村地域資源保全向上対策委員会の結果概要について

栃木県農政部

- 1 開催日時 令和2(2020)年12月2日(水) 10:00~12:00
- 2 開催場所 鹿沼市自然体験交流センター
- 3 出席者 栃木県農村地域資源保全向上対策委員会委員5名
- 4 内容
 - (1) 現地調査及び意見交換(板荷畑いつくし美会:鹿沼市板荷)
 - (2) 審議事項
 - ア 中山間地域等直接支払交付金の棚田地域振興活動加算措置の目標設定について
 - (3) 報告事項
 - ア 中山間地域等直接支払制度(第5期対策(令和2~6年度))の特認基準の変更に伴う対象地域の拡大について
 - イ 多面的機能支払交付金のパンフレット(詳細版)について
- 5 結果概要
 - (1) 多面的機能支払に取り組む板荷畑いつくし美会の事務局長から地域活動の内容や今後の展開方向等について説明いただいた後、各委員と組織代表等との意見交換及び現地視察を実施した。
 - (2) 那珂川町の指定棚田地域が設定した中山間地域等直接支払交付金の棚田地域振興活動加算に係る「棚田地域の振興を図る取組」の目標について、各委員から意見及び助言をいただいた。

<主な意見等の内容>

- (1) 現地調査及び意見交換
 - 多面的機能支払の取組により、環境保全活動の理解促進と非農家の協力体制が整い、地域の課題等が共有された。また、地域の担い手育成では、認定農業者の増加や若い世代の農業への意識変化が醸成された。
 - 若い世代が組織の運営に関わることで、若手の意見が反映され、さらにベテランの経験も加わったことで集落が変わり、将来のビジョンも見えてきた。
 - 将来のビジョンよりも、今やらなければならないことが先行してしまうところを、アンケートの実施等で地域の課題を共有し、将来のビジョンをもって、取組を展開していることがとても素晴らしい。

(2) 審議事項

ア 中山間地域等直接支払交付金の棚田地域振興活動加算の目標設定について

- 交付金を活用して組織の広域化に取り組む際には、地域独自の特色ある取組が失われないように推進してほしい。
- 目標値の設定の際には、地域の条件に見合った目標設定が必要。この先、目標の再設定をする際にも持続可能な取組になるように十分配慮して目標設定してほしい。
- 中山間直払制度は、地域施策であるにもかかわらず、加算目標に生産性向上に関する項目が設定されていることに違和感がある。
- 農業用ドローンなどの農業機械を新たに導入すると維持管理費が増大することになるので、今後の費用捻出が気にかかる。
- 生産性向上に向けた取組については、その場限りの活動とならないようにしてほしい。

(3) 報告事項

ア 中山間地域等直接支払制度（第5期対策（令和2～6年度））の特認基準の変更に伴う対象地域の拡大について

- 特に意見等無し

イ 多面的機能支払交付金パンフレット（詳細版）について

- 特に意見等無し